予算特別委員会記録

1. 日時 平成29年9月6日(水)
午前11時00分 開会
午後 0時00分 閉会
2. 場所 白鷹町役場 議場
3. 議題 (1) 議第74号 平成29年度白鷹町一般会計補正予算(第4号)について
(2) 議第75号 平成29年度白鷹町下水道特別会計補正予算(第1号)について
(3) 議第76号 平成29年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
(4) 議第77号 平成29年度白鷹町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)について
(5) 議第78号 平成29年度白鷹町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
(6) 議第79号 平成29年度白鷹町水道事業会計補正予算(第1号)について
(7) 議第80号 平成29年度白鷹町訪問看護ステーション事業会計補正予算(第1号)について

○出席委員(13名)

2番	渡部善美委員	3番	笹原俊一委員
4番	佐々木誠司委員	5番	小口尚司委員
6番	小形輝雄委員	7番	田中孝委員
8番	山田仁委員	9番	奥山勝吉委員
10番	石川重二委員	11番	佐藤京一委員
12番	菅原隆男委員	13番	関千鶴子委員
14番	今野正明委員		

○欠席委員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町	長	佐	藤	誠	七
副町	長	横	澤		浩
教育	長	沼	澤	政	幸
総務課	長	松	野	芳	郎
税務出納課	長	高	橋	浩	之
企画政策課	長	湯	澤	政	利
企画主幹		永	野		徹
町民課	長	中	村	裕	之
健康福祉課	長	長	岡		聡
商工観光課	長	齋	藤	重	雄
農林課長併 農業委員会事務局長		菅	間	直	浩
建設水道課	長	菅	原	良	教
病院事務局	長	渡	部	町	子
教育次長		田	宮		修
総務係	長	黒	澤	和	幸
財政係	長	小	林		裕
監査委員		竹	田	謙	一

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局	長	樋	口		浩
係	長	橋	本	達	也
書	記	佐	藤	圭	子

開 会

〈午前11時00分〉

○開会の宣告

○委員長（菅原隆男） ご参集まことにご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第7回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された平成29年度白鷹町一般会計補正予算（第4号）外6件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、お手元に配付の文書表のとおり、一般会計から順に平成29年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行い、議案番号順にそれぞれ採決したいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） ご異議がないので、そのように進めることに決しました。

なお、質問される方、答弁なされる方はそれぞれ簡潔明瞭にされるよう申し添えます。

また、質問される方は、ページを示してください。

○議第74号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） それでは、議第74号 平成29年度白鷹町一般会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

初めに、補正予算説明書の概要について説明を求めます。松野総務課長。

○総務課長（松野芳郎） ご説明いたします。

概要の2ページをお開きをいただきたいと思います。

一般会計補正予算における歳入歳出の主なる事項につきまして、ご説明を申し上げます。

初めに、概要でございますが、障害者福祉施設整備事業による障害者通所施設整備支援を初めとする福祉関連施策のほか、地域の安全・安心対策としての消防団活性化事業や町道・水路等の維持工事、森林・山村多面的機能発揮対策事業等について措置をいたすものでございます。

また、人事異動等に伴う人件費の調整を図るとともに、今後見込まれます財政需要等に備え、減債基金への積み立てに対応するものでございます。

次に、歳入について説明をいたします。款、補正額及び概要の説明の順に説明を申し上げます。

8款地方特例交付金、27万5,000円。平成29年度の算定結果に基づく調整でございます。

13款国庫支出金、437万1,000円。子ども・子育て支援交付金、206万4,000円、国民年金事務費交付金17万7,000円。

14款県支出金、506万4,000円。放課後児童健全育成事業、166万1,000円。認定こども園施設整備交付金219万5,000円。

18款繰越金、8,799万6,000円。一般財源として充当をいたすものでございます。

19款諸収入、181万1,000円。介護予防プラン作成料の計上でございます。

20款町債、1,190万円の減額。過疎対策事業債110万円、こども園支援事業の対応でございます。臨時財政対策債1,300万円の減額、平成29年度の算定結果に基づく調整でございます。

歳入合計、8,761万7,000円。

続いて、歳出について説明をいたします。

共通事項。人件費661万3,000円の減額、人事異動等に伴う調整を行うものでございます。

款別の概要について説明を申し上げます。

1 款議会費、25万3,000円の減額。人件費の調整でございます。

2 款総務費、2,520万4,000円。減債基金積み立て3,000万円、積み立てにつまましては将来にわたる財政の健全な運営に資するための対応でございます。情報処理費46万8,000円、国民年金法に基づく届け書の電子媒体化等を行うための対応でございます。まちづくり複合施設費70万円、整備工事に伴う駐車場借地料等の追加計上でございます。

3 款民生費、1,615万6,000円。障害者福祉施設整備事業費補助金300万円。概要でございます。社会福祉法人すぎな会が運営する障害者通所施設「すぎな」の生活介護棟整備に対して支援を行うための対応でございます。介護予防ケアマネジメント事業163万1,000円、要支援認定者の総合事業利用のためのプラン作成に対する審査・支払い方法の変更に伴う対応でございます。こども園支援事業費補助金329万3,000円、愛真こども園整備支援について県からの補助金の追加内示を受けての対応でございます。放課後児童健全育成事業512万9,000円、放課後児童クラブに係る補助基準額の変更等による事業費調整のための対応でございます。

4 款衛生費、430万4,000円の減額。訪問看護ステーション費24万円。上水道費12万円。いずれも人事異動に伴う職員人件費の調整に基づく対応でございます。

6 款農林水産業費、842万5,000円の減額。農地費52万円、貝生ため池斜樋ゲートを修繕するための追加計上でございます。森林・山村多面的機能発揮対策事業補助金116万4,000円、国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用して森林の有する多面的機能の維持向上のための保全活動等に取り組む活動組織に対し助成を行うための対応でございます。

7 款商工費、2,154万4,000円。商工振興費27万4,000円、地方産業拠点施設の修繕を

行うための対応でございます。観光費300万円、施設の修繕等を行うための対応でございます。日本の紅（あか）をつくる町推進事業補助金20万円、国の農山漁村振興交付金を活用して日本の紅（あか）をつくる町連携推進本部が取り組む事業に対して支援を行うための対応でございます。

8款土木費、2,901万6,000円。町道維持補修費1,169万8,000円、路面補修等の安全対策を初めとした維持補修工事等の追加計上でございます。河川水路維持事業費520万円、草木沢水路の整備を図るための対応でございます。公園事業費400万円、公園施設の緊急的な修繕等への対応でございます。

9款消防費、208万1,000円。消防団活性化事業204万2,000円。内容でございますが、消防団活動に必要な物品を整備し、消防団の活性化や地域の安全・安心対策を図るための対応でございます。

10款教育費、244万4,000円。小学校管理費83万円、蚕桑小学校の施設修繕等への対応でございます。中学校管理費73万円、中学校の施設修繕への対応でございます。社会教育施設管理費23万8,000円、滝野交流館の電灯等を改修するための町負担分についての対応でございます。スキー場運営事業費158万円、スキー場の圧雪車等について緊急的に修繕するための追加計上でございます。

11款災害復旧費、415万4,000円。農地災害復旧事業費77万円。内容でございますが、鮎貝排水機場の非常通報装置の緊急的な修繕への対応でございます。林業災害復旧事業費150万円、豪雨により被害を受けた林道の復旧を図るための対応でございます。道路河川災害復旧事業費160万円、豪雨により被害を受けた本田沢川及び砂畑野山線の復旧を図るための対応でございます。

歳出合計、8,761万7,000円。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） 概要書の3ページ、2款総務費についてお伺いいたします。

このまちづくり複合施設費ということで駐車場借り上げ等の追加計上70万円を計上されておられますが、これは今まで説明を受けてきた記憶はちょっとないのですが、当初から計画にあったものなのか、その辺お伺いいたします。

○委員長（菅原隆男） 永野企画主幹。

○企画主幹（永野 徹） この整備工事の駐車場の借り上げについては、駐車場が庁舎の施設内になくなるということはおわかっていたのですが、場所を探しておりまして当初から予算を計上していたわけではございません。やっとな駐車場を借りられる場所を見つけたものですから、見積もりをとらせていただきまして、今回契約をしたいというような形

で予算の追加計上をしたものでございます。

○委員長（菅原隆男） 4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） 当初には想定されていたのかどうかですけれども、こういった事業を進める上で当初想定されていなかったことがこれからちょこちょこ出てくるというのは、事業を進める中では当然あることなのかなというように思いますが、総事業費といたしますと32億2,000万円ということを言われておりまして、それを上限として超えないようにすると毎回お話をお聞きしておりますが、私はその総事業費32億2,000万円という金額そのものが当初の基本構想時の31億3,000万円をベースにしたものに杭の追加施工であったりとか、町民ラウンジの広がったとか、そういうもろもろのことにより9,000万円ほど増加になったと認識しております。

ただ、今現在工事も発注されておまして約24億円の当初予算で工事を進められておりますが、残りの8億2,000万円ぐらいの中で今後例えば解体工事であったりとか、その辺もまだはっきりした金額が示されていないことだと認識しております。この32億2,000万円という数字に対しての信憑性というものを私は非常に怪しい数字なのかなと認識しております。

したがいまして、今回はこの70万円という金額ではございますが、これが例えば700万円であったりとか7,000万円というような金額が今後出てきたときに、我々それをどう判断してよいのか、認めてよいのかどうかという判断基準にするにはこの32億2,000万円という数字に対してのもっと信頼のあるはっきりした金額をまずは示していただかないと、私たちも責任があるわけですので非常に不安だなと感じております。

これは3月の当初予算の時点のときからお願いしていると認識しております。また、各委員会においても私はお願いしてきたつもりでございます。もう9月でございますので、いち早くこれからかかるべきものの想定されるものをもう少し信頼性のある数字というものを出示していただきたいとお願いしたいと思っておりますが、その辺いかがでしょうか。

○委員長（菅原隆男） 湯澤企画政策課長。

○企画政策課長（湯澤政利） お答えを申し上げます。

まちづくり複合施設整備事業の全体の予算額というものにつきましては、基本構想並びに基本設計を行いまして金額的にはこのぐらいというような形で出させていただいて、お示しをさせていただいたところでございます。

本体工事の部分につきましては現在発注をしておまして、金額につきましても契約をいたしましたのでお示しをしているところでございますが、これから行います建物の解体あるいは備品等の購入などもございますが、それらにつきましてはこれから実際に実施設計を行いまして、設計を積み上げた中ではっきりした数字が出てくるというように認識をしているところでございます。

それらについては既にお示しをしているように年次計画をもって今後取り組んでいく

というようなことでお示しをさせていただいているところでございますので、その都度金額的なものはっきりした段階でお示しはしていきたいと思っております。

なお、事業費の部分については既にお示しをしております32億2,000万円を目標として今後取り組んでいきたいと考えているところでございますが、市場の動向とか、それから人夫の賃金の状況とか、それらの変動というのはこれから十分想定されるわけでございます、それらも含めまして最終的な金額につきましてはやはり確定した中でこれぐらいかかったということはお示しできないのかなと思っております。

ただ、幾らかけてもいいというわけではございませんので、お示ししているような金額の範囲の中で何とかおさめたいというような形で今後とも努力はしていきたいと考えているところでございますので、ご理解を賜りたいと思います。

○委員長（菅原隆男） 4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） 新しくつくるものであれば図面を引いてみないと見積もりができないというようなことはわかりますが、今後、建物はもう40何年も前から建っているものでございます。現在存在するものでありますので、解体費用を見積もるなどということは、簡単だとは申し上げませんが、そうそう新しくつくる見積もりに対しましては出しやすい金額なのかなと思われまので、できればできるだけ早い段階でお示しいただきたいなと思います。

続きまして、5ページ、8款土木費に関してお伺いたします。

まず、町道補修維持費ということで1,169万8,000円と計上されておりますが、この内訳、中十王線外というようなことでここに説明書に書いてありますが、この辺の中身についてもう少し具体的にお伺いたします。

○委員長（菅原隆男） 菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） お答えを申し上げます。

説明書にもありますけれども、まず予定箇所として主なものではありますけれども、測量設計の委託と維持補修工事が特に大きな部分でございます。測量設計の委託料が400万円、維持補修工事が570万円というようなことになってございまして、測量設計の委託につきましては維持にも上がっております中十王線の測量の関係の部分、その他既決でいただいております部分で用地測量等が必要になったもの等々も含めて400万円で対応させていただくことで補正をさせていただいているものでございます。

また、維持補修の570万円につきましては、中十王線部分として、こちら舗装のほうの改修でありますけれども、270万円ほど、そして、その他通常のいろいろ地域からの要望等もございまして、また、道路が陥没したとかと、そういった部分などもございまして、それらに対応する部分として300万円ほど確保させていただいているというような部分でございます。

そのほか、若干原材料費等々で補修用資材の確保なりもさせていただいているという
ようなところがございますし、また、補償費で東高玉地内の町道で電話柱等々があつて
非常に狭いというような状況もあることから要望がございまして、町道が今民地のほう
に移設をしていただきたいというようなお話などもございまして、それらに対応しなが
ら除雪等のやりやすいような道路幅を確保できるような形をとっていきたいというこ
とで対応させていただいているというのが主なところでございます。

○委員長（菅原隆男） 4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） 各地区からのこういった要望というのは本当に数多くお伺いして
いるところございまして、片っ端から整備をしていかないとどんどんと水路であつた
りとか舗装であつたりとか、道路なども壊れていくわけでありまして、その都度早急
に対応していただきたいと思います。そういった各地区から多く要望を寄せられてい
る中でどこの地区をするか、その優先順位というようなことをよく言われますが、私も
何回もお伺いしたことがあると思うのですが、そういった優先順位というものをどのよ
うな基準と申しますか、判断されているのか、改めてお伺いいたします。

○委員長（菅原隆男） 菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） お答えを申し上げます。

優先順位というようなことでございますけれども、本当に各地区からの要望の中では
やはり道路を含め、水路なども含めて本当に修繕等の要望を数多くいただいているとい
うふうな状況でございます。

私ども具体的に一つ一つ点数をつけてどうこうということまではしてございませ
んけれども、やはり大分以前からのものというようなことであればなるべく早くとい
うことになりますし、あとはやはり状況に応じまして交通量がどうだとか、あとは
やはり受益の戸数がどうであるとか、あと、やはり現在の幅員の状況がどうだ
とか、または舗装の状況なども含めて、そういった部分を総合的に勘案をしまし
て、その中でやはり緊急度の高いものからというようなことで対応させていただ
いている状況でございます。

○委員長（菅原隆男） 4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） ありがとうございます。

お伺いしますと、本当に生活に直接かかわるような部分の要望というものがほとん
どなのかなというように思いますので、今後とも早急な対応をお願いしたいと思
うところでございます。

続きまして、同じく土木費の今度一番最後のほう、施設整備工事費ということで、
中丸公園というようなことが説明書にあります。この施設整備の400万円の内訳と申
しますか、ご説明をお願いいたします。

○委員長（菅原隆男） 菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） お答えを申し上げます。

説明書にもございますように、予定箇所というようなことで修繕料と施設整備工事で上げさせていただいております。なお、修繕料につきましては100万円でございます、これらにつきましては都市公園の部分での遊具等のやはり老朽化が進んでおりますので、早急に対応しなければならない部分について100万円で一応対応させていただくものというようなことでございます。

主なものとしては、公園内にあるブランコでありますとか、ロープネットクライマーという、ちょっとジャングルジムのようなロープでつくられたものですが、そういったもの、またあと、すべり台のおりたところのマットとか、そういった安全対策を対応させていただくというものでございます。

また、施設整備工事で中丸公園とございますけれども、こちらはソフトボール場と野球場のちょうど間の北側あたりに杉林がございました。伐採についてはもう既にインターハイに向けて実施をさせていただいております、きれいになっておりますけれども、まだ根っこが残っているというような状況でございます、それらの伐根整地を行って、隣にあります芝生広場と一体的な利用ができるように整備をしていくというようなものでございます。

なお、こちらのほう300万円ほどというようなことで予定をしておりますけれども、当初予算の中で伐採のために委託料ということで予算も確保させていただいておりますので、そちらのほう、伐採については委託で当初お金をかけてやる予定でありましたが、おかげさまで切っただけだと、逆に買っていただけたというようなことで対応させていただきましたために、枝の処分費等はかかりましたが、予定していた金額がかからなかった部分を逆に220万円ほど減額をさせていただきまして、その分を施設整備ということで造成、伐根整地に充てさせていただくというようなことで補正をさせていただくものでございます。

○委員長（菅原隆男） 4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） 当初から委託料ということで計画をされておりましたが、その伐採を完了して、それから根っこをとるというようなことを今伺いたしましたが、あそこは非常に野球やソフトボールで利用される方にとっては特に真夏は暑い日差しが照りつけるというようなことで、その林そのものが避暑地と申しますか、中でお弁当を広げたり、日陰になっていた部分で非常に林としての有効利用をされていたのかなと思いますが、そこを伐採をして平らにすると、また、芝生などにするということでありますが、その隣に広い芝生がもともとあったわけですが、その日陰になっていた林を切ってまでここを平らに広げるその目的はどのように考えておられたのか、おられるのか、伺います。

○委員長（菅原隆男） 菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） お答えを申し上げます。

委員が今お話いただきましたように、やはり日陰というものは非常に大事なのかなと思っておりますけれども、大分球場脇の桜の木等々も大きくなってきているというようなかで、ある程度の日陰は確保できるのかなと考えておりますが、なお隣に芝生広場もございます。なお、今、芝生広場についてはソフトボールの際の練習であったり、あとは親子連れで遊ぶといったようなことなどもあるのかなと思っておりますけれども、正直申し上げましてこれまで旧西中のほうでグラウンドゴルフ協会があそこでグラウンドを活用してグラウンドゴルフを実施をしておりました。その前は健康運動広場というようなかで、健康福祉センターの脇の広場でやっておったんですけれども、そういったことで旧西中学校のグラウンドが使えなくなったというようなことなどもございまして、今後については中丸公園の芝生広場を中心にグラウンドゴルフを実施をしていきたいというようなご要望などもございまして、ソフトボール大会の大きな大会に支障がない範囲でご利用いただくということでございまして、今回の杉林についても一体化をすることでより利用しやすいような状況をつくりたいというようなことで今回整備をさせていただくものでございます。

○委員長（菅原隆男） 4番、佐々木委員。

○4番（佐々木誠司） グラウンドゴルフのために使っていただくというようなことで、非常にグラウンドゴルフ協会の方々も楽しみにされるのかなと思います。

ただ、そうなりますとどうしても一般の方々が広場を使うにグラウンドゴルフのコースの中には入れなくなるとか、そんなことで大分ソフトボール、また野球で来られる方々にとっては広場としては狭くなるのかなというような感じはしますが、そのあたりグラウンドゴルフ協会との話し合いと申しますか、そういったことをきちっと進めていただきたいなと思います。

以上です。

○委員長（菅原隆男） 田宮教育次長。

○教育次長（田宮 修） ただいまの芝生広場の利用に関してでございますけれども、基本的には多目的利用の広場と捉えております。ただ、先ほどありましたように旧西中学校のほうで使っていたグラウンドゴルフ場が使えなくなるというようなことから、今回芝生広場をご利用いただくということで、協会とも利用に当たってのルールをこちらのほうで今話し合いの中で決めているということで進めております。

一般の方の利用ができなくなるということではないと捉えておりますので、今後管理も含めて協会と話をしていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（菅原隆男） 2番、渡部委員。

○2番（渡部善美） 4ページ、農林水産業費の中で116万4,000円という金額がありますけれども、森林の有する多面的機能の維持向上のための保全活動などに取り組む、きの

う詳しい答弁いただきましたけれども、4団体とありますが、面積はどれぐらいなのかお伺いしたいと思います。

○委員長（菅原隆男） 菅間農林課長。

○農林課長（菅間直浩） お答えいたします。

面積につきましては、今お聞きしているところでは29.1ヘクタールということでお伺いしているところでございます。

○委員長（菅原隆男） 2番、渡部委員。

○2番（渡部善美） ありがとうございます。

以上です。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 概要書の3ページ、こども園支援事業費補助金とありますが、6月にも補正があって、またということのようですが、そこら辺のいきさつと内容の細かい説明を求めます。

○委員長（菅原隆男） 長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） お答えいたします。

委員からお話ありましたこども園整備に関しましては、まず愛真こども園の施設整備に係る補助の関係でございます。

愛真こども園につきましては現在整備が進められておりますが、この整備に関しましては保育所整備のための交付金と、あとはこども園整備のための交付金がございます。このうち、こども園の施設整備交付金につきまして補助額が6月に補正させていただいたときは補助額に対して64%の圧縮というようなことで国で補助の内示がなされました。

これに基づきまして6月に一旦補助金額を整理をさせていただいて減額補正をさせていただいたところでございますが、このたびその後追加の内示というようなことで、このこども園整備交付金事業につきましては全国的な整理を行った上で、最終的には補助金額の90%までの復活がなされました。この復活分について今回増額補正をさせていただいたところでございます。その結果といたしまして、今回こども園整備に関しましては総額で2億1,709万3,000円というようなことでの金額とさせていただくものでございます。

なお、その補助の復活に伴いまして町の持ち出し部分もその補助金の復活分の2分の1の額がルールとしての町の持ち出し分としてこの補正額の中には入っているところでございます。

以上です。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） これ総事業費の補助金に対する上限の金額があると思うのですが、そこら辺はどのくらいの金額なのでしょう。

○委員長（菅原隆男） 長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） お答えをいたします。

補助金の額でございますけれども、保育所整備に関する補助金につきましては整備費に対する補助基本額の上限といたしましては2億5,712万円ということになっておりまして、これを超えて事業費があるとしてもこの2億5,712万円をベースとした形での補助の計算がなされるというようなことでございます。

また、こども園整備分につきましては、愛真こども園の定員のうちこども園相当分に係る分を事業費の人数割をさせていただきまして、その額が補助の基準額ということによって設定をさせていただくということでございまして、こちらで見込んでおります補助の基準額といたしましては約2億7,400万円でございます。この2億7,400万円をもとにいたしまして県・町の補助率を掛けて支出をさせていただくということでございます。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 圧縮が64%から90%になったというお話ですが、残り10%はこれまた国の対応によってはまた町の負担も出てくるというような見解でいいのでしょうか。

○委員長（菅原隆男） 長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） お答えいたします。

圧縮90%ということで10%はルール分から圧縮されている状況でございますので、この10%が仮に復活ということで内示がなされれば、その内示に応じた形の町の負担というようなものは発生すると考えております。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） わかりました。

それでは、概要書4ページ、商工費、観光費の修繕工事費300万円とありますが、これの中身について説明を求めたいと思います。

○委員長（菅原隆男） 齋藤商工観光課長。

○商工観光課長（齋藤重雄） ご説明させていただきます。

観光費の修繕料及び工事費ということでございまして、修繕料につきましてはやな場の座敷部分の損壊があったところの修繕料ということで130万円を見込んでございます。

それから、工事請負費でございますが、これにつきましては町民保養センター浴室の部分の外の転落防止柵の施工を見込んでいるものでございます。金額といたしまして170万円でございます。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） まず、やなのほうから聞きたいのですが、この座敷というのはやなの本体のことですか。

○委員長（菅原隆男） 齋藤商工観光課長。

○商工観光課長（齋藤重雄） やなの本体でございまして、上流部に向かいましてやなの

本体の右側の先のほう、最初に水とぶつかるような部分でございます。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） これ鮎まつりがあるわけですが、それまで間に合うというような考え方でいいのでしょうか。

○委員長（菅原隆男） 齋藤商工観光課長。

○商工観光課長（齋藤重雄） 今後の降雨によりますけれども、今後あそこの砂利とりをする予定でございまして、そのときに一緒にやりたいと考えてございます。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） では、間に合わせるというような理解でいいのですね。

それでは、転落防止についてですが、よく理解できないのですが、もう少しなぜ転落防止が必要なのか、そこら辺をちょっとお伺いします。

○委員長（菅原隆男） 齋藤商工観光課長。

○商工観光課長（齋藤重雄） まず、やなの関係ですが、先ほども申し上げましたようにこれから降雨がどうなるかによりましてやるかやらないかの部分は出てくると思いますが、今の状況でしたら砂利とりをするときにやる予定で進めております。

それから、保養センターの転落防止柵ということでございますが、こちらにつきましては当初男女の浴室がございまして、そこに目隠しの柵を今回当初予算でつけさせていただいてございます。今工事中でございまして、その前の若干の広場が出てございまして、そちらにつきましては浴室から出られるようになるというようなことございまして、そこにお客様が出た場合に、1つは下のほうからとか、そういうところから見えないようにすることとあわせて、急なところになってございますので下に落ちないような柵を設けたいと考えているものでございます。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 浴室から出ていくという前堤の説明なのですが、裸で出ていくという理解の中でこの転落防止ということなのか、これをするによってある程度お客様の利用が増えてくるというような考え方もあってやるのか、そこら辺いかがでしょうか。

○委員長（菅原隆男） 齋藤商工観光課長。

○商工観光課長（齋藤重雄） 保養センターの浴室の部分につきましては、現在は外には出て行けないようになってございます。これはまだ目隠しの柵もできておりませんし、今後目隠し柵ができた段階で、裸でといいますか、暑いときには外に出ていかれるようにするというようなことございまして、その場合の目隠しと、それから転落防止を兼ねての柵ということでございます。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 裸で行くのかは何かわかりませんが、それをあえて裸でそっちに行

ってもらおうということが本当に必要なのかというのほどのような見解でこの工事が始まるのですか。

○委員長（菅原隆男） 齋藤商工観光課長。

○商工観光課長（齋藤重雄） お客様の中には現在もサウナを利用した後に外に出られる方がおまして、途中で出られないようにはなっておりますが、その要望にお応えするようなことになると思います。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 関連ですが、露天風呂がないということが1つの大きな問題なのか、そこら辺も踏まえた形で外へ出られるということも理解する中の1つかなと思えました。わかりました。

次、概要書の5ページ、教育費のスキー場圧雪車について。これかなり古いというお話を聞いているのですが、そこら辺の説明を求めたいと思います。

○委員長（菅原隆男） 田宮教育次長。

○教育次長（田宮 修） お答えいたします。

今回、スキー場の圧雪車の修繕で、スキー場運営事業費としては158万円計上しておりますが、内容といたしましては圧雪車の修繕分で97万円というようなことで予定しております。

圧雪車につきましては平成6年に購入したとなっております、二十三、四年経過したものでございます。毎回点検はしておりますけれども、今回スキー場オープン前に必要な修繕が出てきたということでありますので、今回計上させていただいたという状況です。

以上です。

○委員長（菅原隆男） 9番、奥山委員。

○9番（奥山勝吉） 平成6年ということでかなりたっているわけですがけれども、この圧雪車はこれから将来的にも維持修繕費がかかるということが見えてくるとすれば、新しいものといえますか、更新ということも考えざるを得ないのかなと。そこら辺も踏まえた形で今回は修繕するというのか、ただオープンのための修繕なのか、そこら辺はいかがでしょうか。

○委員長（菅原隆男） 田宮教育次長。

○教育次長（田宮 修） お答えいたします。

圧雪車の更新につきましては、教育委員会としても計画はしていきたいということで、町の振興実施計画、それから財政所管にも予定年度をお示ししながら計画はしていきたいと思っております。

今回の修繕につきましては、まずは定期点検の中で必要な修繕というようなことで、営業に支障ないような準備をしたいということで計上をしております、今後更新に向

けた対応も図っていきたいと考えているものです。

以上です。

○委員長（菅原隆男） 10番、石川委員。

○10番（石川重二） 3ページの民生費の中でお聞きしますが、保育園というか、こども園の中で1歳未満児が予想外に応募されて職員不足になりかねない問題が出ているというお話を聞いたのですが、未満児ですと少人数を1人の保育士が見なくてはいけない。そうすると、ほかの園児のほうへ人手がちょっとダブって見ても大変な問題になりかねないというような話があるのですが、その辺どうかちょっとお尋ねしたいと思います。

○委員長（菅原隆男） 長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） お答えをいたします。

委員からお話ありましたとおり、未満児の保育の要望は年々高まりを見ているところでございまして、ゼロ歳児であれば子供3人に対して1人というような形で保育士を確保しなければいけないというようなことがございます。

これにつきましては、まずは保育の申し込みをいただいた時点で職員の配置がとれるかとれないかというようなところで、とれない場合ということに関しては若干のお時間をいただきながら受け入れができるような状態になるようにというようなことで取り組みをしております。

また、ご希望をされる保育所、こども園ということの中で、その体制がなかなかとりづらい場合には、ご希望に添えない形でほかの園にお願いをするというようなことも考えられる状況でございまして、この保育士体制の確保というようなところは今後も未満児の保育の需要が高まることになれば、その部分についてどのような形で対応したらいいかというところは現在は考えを進めているところでございます。

○委員長（菅原隆男） 10番、石川委員。

○10番（石川重二） 今の回答でございまして、1つの園の枠を越えてもその対応について考慮するような努力をしていきたいということですか。

○委員長（菅原隆男） 長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） お答えをいたします。

保育園の入園に関しましては、ご希望をいただいた保育所、こども園等に入園されれば一番いいわけですが、受け入れ体制の問題ですとか定員の問題などもございまして、必ずしもご希望に添えるところに入園できるというようなことにならないこともございます。

また、保育が必要だというような方につきましては、やはり保育所がご希望でなくても違う保育所、こども園で何とか保育を受けさせていただいて、ご家庭のご支援ができればというようなことで考えているところでございます。

○委員長（菅原隆男） 10番、石川委員。

○10番（石川重二） 今年度申し込みの出た未満児の全体の数というのはいくつあったのでしょうか。

○委員長（菅原隆男） 長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長（長岡 聡） お答えをいたします。

今年度どのような状況になっているかというようなこととなりますと、3歳以上児は秋に入所の申し込みをとりまして、その後人数の把握をさせていただくということになりますが、未満児のお子さんにつきましてはやはりそのご家庭の状況によって保育が必要になってくるというようなことがございまして、大変申しわけありませんが今時点で今年度未満児保育の申し込みが新たにどれくらいあったかということについては私今資料を持ち合わせておりません。申しわけございません。

○委員長（菅原隆男） 第2表債務負担行為補正、第3表地方債補正、その他全体的なもので何かございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑終結と認めます。

○議第75号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に移ります。議第75号 平成29年度白鷹町下水道特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） ご説明申し上げます。

概要書の7ページをお開きください。

下水道特別会計、補正額162万4,000円。内容につきましては、人事異動に伴います職員人件費の調整及び浄化管理センター原水ポンプ更新工事への対応ということでございます。下水道総務費62万4,000円、浄化管理センター管理費100万円となるものでございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

○議第76号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に、議第76号 平成29年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。中村町民課長。

○町民課長（中村裕之） ご説明申し上げます。

予算説明書の概要、7ページをお開き願います。

国民健康保険特別会計、補正額3,592万5,000円。概要であります。円滑な事業運営に資するための国民健康保険給付基金への積み立て及び療養給付費等交付金等の精算への対応を行うものであります。総務費71万5,000円。内容であります。平成30年度の国保制度改革に対応するため、国保ラインシステム及び番号制度に係る国保システム改修を行うものでございます。保健事業費12万円、基金積立金2,999万9,000円、28年度の決算状況を踏まえまして基金への積み立てに対応するものでございます。償還金509万1,000円、療養給付費等の交付額の確定によりまして既に交付を受けている交付額の超過分について返還するものでございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

○議第77号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に、議第77号 平成29年度白鷹町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。菅原建設水道課長。

○建設水道課長（菅原良教） ご説明を申し上げます。

概要書の7ページをごらんください。

農業集落排水特別会計、補正額81万9,000円。内容につきましては、人事異動に伴います職員人件費の調整及び循環型社会形成推進交付金の内示額を受けまして、国庫支出金の減額等への対応を行うものでございます。総務管理費18万1,000円の減額。施設管理費特定地域生活排水処理事業費ということで、合併浄化槽の老朽化に伴います本体の修繕等に対応するために100万円を補正させていただくものでございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

○議第78号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 次に、議第78号 平成29年度白鷹町介護保険特別会計補正予算

(第1号)についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。長岡健康福祉課長。

○健康福祉課長(長岡 聡) ご説明申し上げます。

概要書の7ページをごらんください。

介護保険特別会計でございますが、補正額4,481万7,000円の追加補正を行うものでございます。補正の概要につきましては、人事異動に伴う職員人件費の調整及び円滑な事業運営に資するための介護給付費準備基金への積み立て等への対応でございます。

内容といたしましては、総務費56万3,000円の追加補正につきましては、人事異動に伴う人件費の調整及び平成30年7月に予定されております個人番号等に関するデータをやりとりするためのデータ形式の変更に対応するためのシステム改修委託等でございます。地域支援事業費5,000円の減額につきましては、人件費の調整等でございます。基金積立金2,723万6,000円につきましては、平成28年度の決算を踏まえ基金への積み戻しを行うものでございます。償還金1,702万3,000円につきましては、平成28年度の保険給付等の精算によります国及び支払基金への償還金の補正でございます。

以上でございます。

○委員長(菅原隆男) 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長(菅原隆男) 質疑なしと認めます。

○議第79号の説明、質疑

○委員長(菅原隆男) 続いて、議第79号 平成29年度白鷹町水道事業会計補正予算(第1号)についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。菅原建設水道課長。

○建設水道課長(菅原良教) ご説明を申し上げます。

水道事業会計、補正額、収益的支出39万9,000円。内容につきましては、人事異動に伴います職員人件費の調整のみでございます。収益的収入に他会計補助金ということで一般会計から児童手当分として12万円、収益的支出に職員給与費として39万9,000円となるものでございます。

以上でございます。

○委員長(菅原隆男) 説明が終わりました。

収益的収支一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長(菅原隆男) 質疑なしと認めます。

○議第80号の説明、質疑

○委員長（菅原隆男） 続いて、議第80号 平成29年度白鷹町訪問看護ステーション事業会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。渡部病院事務局長。

○病院事務局長（渡部町子） ご説明申し上げます。

7ページ目の一番下をごらんください。

訪問看護ステーション事業会計、収益的支出24万円。人事異動に伴う職員人件費の調整でございます。収益的収入に他会計負担金として24万円、収益的支出に職員給与費として24万円。収益的支出が人事異動に伴う児童手当の増24万円に対しまして、収益的収入、児童手当に係る繰り出し基準に基づく一般会計からの繰り入れとして他会計負担金に同額増となったものでございます。

以上でございます。

○委員長（菅原隆男） 説明が終わりました。

収益的収支一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

○議第74号の採決

○委員長（菅原隆男） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第74号 平成29年度白鷹町一般会計補正予算（第4号）について採決いたします。

議第74号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第75号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第75号 平成29年度白鷹町下水道特別会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第75号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第76号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第76号 平成29年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第76号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第77号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第77号 平成29年度白鷹町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第77号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第78号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第78号 平成29年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第78号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第79号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第79号 平成29年度白鷹町水道事業会計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第79号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第80号の採決

○委員長（菅原隆男） 次に、議第80号 平成29年度白鷹町訪問看護ステーション事業会

計補正予算（第1号）について採決いたします。

議第80号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（菅原隆男） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（菅原隆男） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算7件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（菅原隆男） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（菅原隆男） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後0時00分〉